



2050年の大人づくり



◀10周年記念キャラクター ゆり(右) ぐり(左)

【多摩市教育委員会 基本方針】

- 1 「豊かな個性」と「創造力」の伸長
- 2 「人権尊重の精神」と「社会貢献の意欲」の育成
- 3 「健やかな体」の育成と「健康教育」の推進
- 4 「ESD」の充実と発展
- 5 地域とともに子どもたちを育む取り組みの推進
- 6 「社会教育」と「家庭教育」の充実

【学校教育目標】

- 実行する子 (知)**
思いやりのある子 (徳)
健康な子 (体)

R6キャッチフレーズ

**毎日会いたい友達や先生がいる学校
毎日受けてほしい授業がある学校**

【学校経営基本方針】

- 1 学ぶ喜び、学ぶ楽しさが得られる授業を通して、確かな学力の定着を図る。(知)
- 2 ESDの理念に基づく教育活動を推進する。(知)
- 3 個性を尊重し、自己肯定感を高める。(徳)
- 4 健康に留意し、健やかな体をつくる。(体)
- 5 地域や保護者に信頼される学校づくりに努める。
- 6 教育公務員の自覚と誇りを持ち、心身ともに健康で明るい職場をつくる。

確かな学力の定着

- 誰もが「わかる」「できる」が実現する授業の確立(ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業)
- ICTを活用した個に応じた指導、協働的な活動・体験活動等の充実
- 粘り強く課題を解決する態度、思慮深く考えたり、批判的な立場で考えたりする力や考えたことを行動に移す力の育成
- 一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細やかな指導・支援の展開
- 校内研究による教員の指導方法の研究・研修(聞く力・話す力に焦点を当てた授業研究)

ESD^(※1)の推進

- 学校林など豊かな自然環境を生かした体験活動の充実
- 「学校林の活用・再生」「地域貢献」「食育」の3点を重点にしたSDGs^(※2)の達成のために行動する力の育成
- 私たちの住む社会や環境をよりよくしていこうとする資質の涵養
- 総合的な学習の時間を中心とした教科のつながり、人とのつながりを大切にした授業展開

学校林の活用

食育

地域貢献

個性の尊重、自己肯定感の向上

- 「おはよう」「ありがとう」などの気持ち良い挨拶や返事の定着と規範意識の向上
- いじめや暴力は絶対に許さないという意識の醸成と早期発見、早期解決(児童の変化を「見逃さない」「見過ごさない」体制づくり)
- 道徳科を要とし、「思いやり・親切」「個性の伸長」「生命の尊重」を重点とした道徳教育の推進
- 児童一人一人の良さや可能性を認め、励ますことによる自己肯定感の向上
- たて割り班活動等による他学年交流、地域の人との交流による人格と個性を尊重し合える児童の育成

体力向上と心身の健康

- 家庭と連携した基本的な生活習慣と生活リズムの確立
- 体育科の授業やトヨリンピック等の体育的活動による運動に親しむ習慣の涵養
- 体力向上の取組、保健指導等による健康・安全教育の充実
- 食育の取組による地域等の理解、自然の恵みや勤労の大切さなどの醸成
- 自己を振り返り、将来にわたって、たくましく自己実現を図ろうとする態度の育成

家庭・地域と共につくる学校

- 保護者会、学校公開等の機会を生かした学校教育活動の共有
- 「学校林」の環境保全活動等を通じた学校への愛着の育成
- ホームページや学校だより等による学校からの積極的な情報発信
- 地域人材、地域環境などの特色を生かした授業の展開
- 地域を愛し、地域に貢献できる意識の涵養

教職員が心身ともに健康で明るい職場

- 教育公務員としての服務規律の遵守と教員間で不祥事を起こさない、起こさせない意識の徹底
- OJTの推進による指導方法等の共有化
- 報告・連絡・相談の徹底による機動力のある校内組織の確立
- 迅速な情報の共有化、業務の効率化等による「働き方改革」の推進(時間外労働の短縮化)

(※1) ESD: Education for Sustainable Development の略で「持続可能な開発のための教育」を示す。

(※2) SDGs: Sustainable Development Goals の略で、国連が示した持続可能な開発目標。持続可能な世界を実現するための17のゴールを示す。